

部会開催概要

鯖江市総合計画審議会総務部会（1回目）開催概要（要旨）

日時 平成26年10月15日（水）

午後7時から午後9時30分

場所 市役所 第2委員会室

【欠席】1委員（意見書提出）

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 事務局説明
 - ・審議の進め方について
 - ・若者との語り合う会の結果について
 - ・主要な指標について
 - ・欠席者からのご意見について
- 4 審議概要

□ P60 3章 1 防災協働社会を創る

委員：ガバメント2.0とはどのようなものか。

担当：この項目では、住民の皆さんに災害時の様子をメール等で知らせてもらい、それを他の住民の皆さんにホームページや一斉メール等で周知するための情報伝達手段の一つである。

委員：防災士や防災リーダーは各地区にいるのか。

担当：防災リーダーは自主的な人や区長が推薦した人など。防災士は全国的な資格でより専門的な知識を有する人で、一定の条件を満たす人である。

委員：防災モニター登録者の目標値である150人が妥当かどうか分からない。

担当：町内に一人は置きたい。防災士にも登録して欲しい。

委員：防災リーダーには地区や性別、年齢等に偏りがあるのか

担当：多少ある。年齢的にも高めであるが、地区として少ないところは啓発していききたい。

委員：女性の防災リーダーは何人いるのか。勤めている人でも大丈夫か。

担当：女性は8人いる。普段から側溝に溜まったごみ等を除去するというような活動もしている。

委員：高齢者の一人住まいに対する対応は

担当：災害時要援護者として登録していただき、区長や民生委員等を通して情報を伝達する。

□ P64 3章 3 防犯力を強化する

委員：空き家と防犯の関係が理解できない。

担当:空き家がたまり場になったりする可能性がある。

委員:空き家を防犯上だけで捉えて良いのか。活用の方法等は。

事務局:計画の柱の一つである人の増えるまちづくりの中で、空き家を活用した定住の促進についても明記していきたい。

委員:防犯隊の活動は大変である。地域でも支援するべきと考えるが、一定の基準を定めて欲しい。

担当:防犯隊には市でも一定の支援はしているが、地区の支援する基準については今後検討する。

委員:持ち主等のいない空き家は、誰に指導するのか

担当:現在は個人情報との関係で所有者等の特定ができない。今後、法律等が改正される予定。周りに危険を及ぼす恐れがある場合は、強制的な手続きも取れる。

委員:委員からの提案については

担当:軽犯罪の件数は警察のHPにも出ている。

委員:市民とともに取り組む参考値として取り扱ってはどうか

委員:「空き家」と「防犯」との関連については「犯罪」という表記を加筆してはどうか。

□ P66 3章 4交通安全を推進する

委員:自主返納者の人数を割合で成果指標として出してはどうか

担当:65歳以上の免許取得者に対する比率は非常に小さな値となって表現としては難しい。

委員:警察に直接返納している人は。

担当:市ではわからない。

委員:今回なぜ成果指標に組み入れたのか。

担当:従来は返納の特典としてコミバスの利用パスだけであったが、交通災害への加入を加えるなど支援メニューを追加したため。

委員:高齢者の事故件数を成果指標に組み入れては。

担当:参考値に記入するなど検討する。

委員:コミバスの普及にもつながるだろう。

□ P68 3章 5自立した消費生活を目指す

委員:成果指標が11人の増加でよいのか。

担当:年によってばらつきがあるため、このような結果となった。どれくらいまで伸ばせるか再検討する。

委員:低年齢層への啓発の実施で相談件数は増えるのでは。

□ P72 3章 7人権尊重を推進する

委員:少し目標値が低いのでは。全地区で啓発しているのか。

担当:全地区では難しいが、啓発回数を見直しを図りたい。

委員:目標値の見直しをしていただきたい。

□ P74 3章 8 参加と協働によるまちづくりを推進する

委員:これも目標値が低すぎないか。

委員:全地区で取り組んでいるのか。

担当:全地区ではない。できるところから始めている。

委員:できる範囲で目標値を伸ばしてほしい。

委員:本市の女性役員の割合は。

担当:区長は今年は一人。

委員:まちづくり応援団はどのように募集しているのか

担当:本来は若い人に多く参加していただきたいが、現状は区長からの推薦が多い。

委員:他の地区への広がり期待できるのか

担当:お願いしていく。

□ P76 3章 9 男女共同参画社会の実現を目指す

委員:ワークライフバランスの企業表彰の基準は？

担当:啓発を目的としており、明確な基準はない。自薦、他薦を問わず募集している。

委員:福井市でも実施しているが、一定の基準を設けており、中小企業が多く表彰されている。

委員:鯖江らしさも盛り込んで推進して欲しい。

5 部会審議を経ての修正点

修正項目:3 -3 防犯力を強化する

修正内容:事件件数は参考値として表記してはどうか。空き家と防犯の関係では、犯罪の文言を追記する。

修正項目:4-4 交通安全を推進する

修正内容:交通事故件数を参考値として表記する。

修正項目:5-5 自立した消費生活を目指す、7-7 人権尊重を推進する

修正内容:成果指標の目標値を再検討する。

鯖江市総合計画審議会総務部会(2回目)開催概要(要旨)

日時 平成26年10月28日(火)

午後7時から午後9時30分

場所 市役所 第2委員会室

【欠席】2委員(1委員から意見書提出)

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 事務局説明
 - ・1回目の結果について
 - ・審議の進め方について
 - ・欠席者からのご意見について
- 4 審議概要

□ P62 3章 2 消防力を強化する

委員:市内のAEDの設置件数は

担当:市内で約100件程度。過去には他の自治体でも少年野球の現場等で使用したケースがあった。

委員:AEDが設置されていても休館日などで使用できないことはないのか。

担当:公共施設においては、夜間や休館日は利用できない。ただし、現時的には救急車による処置の方が早くなる。

部会長:現状と課題において、防災にかかる文面と同じ内容。防災より消防に視点を置いた方がよいのでは。総合計画は分野別に表記されているので、消防を前面においてほしい。

担当:消防団の活動は火災消化よりも防災のウエイトが高くなる傾向もあるが、文面を修正する。

事務局:火災件数を目標値に設定する件は。

部会長:参考値として取り扱い、市民運動で目標達成に向けて取り組めるように市民にデータを公開していく。他の部会とも調整する。

□ P70 3章 6 情報発信を充実する

委員:健康講座なども行政出前講座か。もっと広い分野で取り組むべきでは。

担当:防災等が多いが、市政全般にわたり幅広く取り組んでいる。(事例紹介)

委員:Fb等の活用があり、職員も多く登録しているが、具体的にはどのように活用していくのか。

担当:Fbの良さは拡散性にある。災害時の情報発信等、多様な手段を駆使して発信していく。

部会長:広聴に関してはSNSの活用が抜けているのでは。

担当:基本方針に含めていく。

□ P114 6章 2情報通信技術（IT）を活用する

委員:市のFB（FACEBOOK）はあるのか。ホームページのアクセス件数にはFBも入っているのか。

担当:市のFBはあるが、ホームページのアクセス件数には含まれていない。

部会長:将来的にはホームページの果たす役割はFBなどに移るのか。

担当:Fbなどは民間サービスを利用しているが、ホームページは公式なものである。

委員:自治体クラウドについて。セキュリティーが心配だが。

担当:国が進めている施策で、災害による情報等の消滅のリスクがなく、単独で実施するより経費も安くなる。

□ P120 6章 5効率的な行政運営を推進する

部会長:地方主権という表現はおかしい。地方分権もしくは地方自治に修正すべき。

担当:修正します。

□ P122 6章 6健全な財政運営を推進する

部会長:クラウドファンディングとは。

担当:特定の事業目的に対して資金を集める手段の一つ。

委員:人口が減少すると税収も減らし、市債を減らすという方向の中で公募債を発行するのか。

担当:大型公共事業が減少することが見込まれるとともに、市中金融機関等からの市債を減らし、市民公募債で対応していく。

□ P124 6章 7適正な課税と積極的な徴収を推進する

委員:収納率の目標値はあくまでも100%であるべきでは。

委員:コンビニ収納等で収納率は上がるのでは。

担当:コンビニ収納は手数料は高いが、今後も増えていくと思われる。生活困窮者や倒産事業者などを見込み98%としている。

委員:口座振替の目標値が他の自治体と比較して高いのか低いかわからない。以前は37.2%だった。

担当:福井市は35.4%、越前市は高く44.6%。コンビニ収納が増えたり、年金受給者は市民税等が天引きされることになり、なかなか進まない状況。

部会長:目標を100とすべきか98でもよいのでしょうか。

委員:現状を考慮すると98が妥当では。

担当:口座振替の推進については、個人情報保護法の関係で進まない。

部会長:成果指標の説明欄に本来収納率の目標は100%であるべき、ということを明記してはどうか。

□ P126 6章 8国際協力・地域連携を推進する

委員:外国籍市民の役割は重要。より多くのイベント等に参加してもらえるようにする

べき。母国などへF b一つで鯖江市のPRがしてもらえる。

□ P108 5章 8 二次交通のネットワークを充実する

委員:新幹線開業時には特急がJR鯖江駅に止まらなくなるが、基本方針にあるJR鯖江駅の利用促進は新幹線敦賀開業までの施策か?

担当:JRの利便性向上には利用促進運動は必要。

部会長:基本方針等の中で矛盾していると取られかねない表現があるので修正して欲しい。

□ P112 6章 1 市民との情報共有化を推進する

委員:個人情報保護に関して現在は情報収集ではなく情報取得と表現しているのでは。

担当:確認して修正する。

□ P116 6章 3 職員の政策能力を向上させる

委員:個人一人ひとりの資質の向上も重要だが、市民サービスの向上には組織としての取り組みも必要である。

担当:今年から部署単位での接遇に力を入れているところ。気が付いたことは改善するので教えて欲しい。

委員:人事評価も個人の成果主義に重点が置かれすぎていないか。若い人を育てるといふ組織努力が必要。

担当:所属長とのミーティングを通して、評価に取り組んでいる。

部会長:組織としての取り組みも明記して欲しい。

□ P118 6章 4 窓口サービスの向上を目指す

委員:90%の残る10%は?100%を目指すべきでは。

担当:「普通」という回答が約10%ある。

委員:どれくらいの人からアンケートをとっているのか。

担当:約月60件。

部会長:満足していないという人を0%ということにすべきかも。再度検討して欲しい。

□ P128 6章 9 市民主役のまちづくりを推進する

委員:主要な事業概要の中で、「若者・高齢者等」というのは不要では。すべての年齢層に新たな意識の醸成を図るべきである。

部会長:削除して欲しい。

5 部会審議を経ての修正点

修正項目:3-2 消防力を強化する

修正内容:より消防に関する事項を追記すること。火災件数を参考値として設定するこ

と

修正項目：3-6 情報発信を充実する

修正内容：広聴に関してSNSの活用を進めるべき。

修正項目：6-5

修正内容：地方主権という表現はふさわしくない。

修正項目：6-7 適正な課税と積極的な徴収を推進する

修正内容：本来の収納率の目標値は100であることを明記すべき。

修正項目：5-8 二次交通のネットワークを充実する消防力を強化する

修正内容：基本方針において、矛盾していると誤解されかねない表現があるので修正して欲しい。

修正項目：6-1 市民との情報共有化を推進する

修正内容：個人情報の取得と収集の使い分けを確認すること。

修正項目：6-3 職員の政策能力を向上させる

修正内容：個人の資質向上ばかりではなく、組織としての取り組みも明記すべき

修正項目：6-4 窓口サービスの向上を目指す

修正内容：満足度の目標値は100%であるべきでは。不満足度0%ということも含めて表現を検討して欲しい。

修正項目：6-9 市民主役のまちづくりを推進する

修正内容：事業概要の中で「若者・高齢者等」を削除するべき。

鯖江市総合計画審議会教育民生部会(1回目)開催概要(要旨)

日時 平成26年10月14日(火)

午後4時から午後6時

場所 市役所 第2委員会室

【欠席】1委員(意見書提出)

1 開会

2 部会長あいさつ

3 事務局説明

- ・審議の進め方について(環境も含めることに全員同意)
- ・若者との語り合う会の結果について
- ・欠席者からのご意見について

4 審議概要

□ P82 4章 1 社会福祉を充実する

委員:地域福祉団体が福祉の推進には重要な役割を担っているが、あまり触れられていない。より具体的に関係団体を明示してほしい(社会福祉協議会、民生委員、福祉協力委員、老人クラブ家庭相談員など)。

担当:総合計画の中では具体的な団体名までは明示はしていないが、福祉政策推進の柱として考えている。

□ P84 4章 2 高齢者福祉・介護サービスを充実する

委員:介護保険の制度改革により予防給付のうち訪問介護と通所介護が地域支援事業に移行される。それに伴うサービス提供体制(特に多様な担い手の確保等)をどう構築するのか。

担当:来年から介護保険計画が6期目に入る。現在その計画づくりを進めているところ。この件は大きな課題。移行にはある程度の時間が必要。第6期の計画の中で基本的な方向性を規定する予定。いずれにしても予防の充実を図っていく。

委員:介護認定率は県内ではどのくらいに位置するのか

担当:平成26年3月末時点では、県内9市では最も低い。

□ P86 4章 3 子育て支援を充実する

部会長:委員の意見に対して

担当:総合計画に基づき、個々の事業について目標を設定して取り組んでいるが、それらすべてをこの計画書に記載することは難しい。なお、早朝保育に関しては、保育士を確保する観点から具体的な時間を明示することは困難な状況にある。保育所におけるイベントの開催日程等は保護者会と相談して決定している。障がい児を持つ母親への支援に関しては、市の健康課(保健師)や社会福祉課、児童福祉課が連携して対応している。

委員:障がい児を持つ母親への支援についても施策の中に組み込んで欲しい。

担当:障がい児を持つ母親への支援については施策の中に明記する方向で調整する。

委員:自閉症は事前に察知できる。3歳児検診等で対応すべきでは。

担当:検診時などに気が付いたことなどは、保護者や保健師、医師と連携して対応している。

委員:人口の推移等を資料として提出してほしい。

事務局:人口と経済など主要指標にかかる現状値と推計値に関する資料を配布。

□ P88 4章 4健康づくりを充実する

委員:他市町と比べてもよく頑張っている。この特定健診の実績だけでCランクはおかしい。認知症も近年増加しているので対応してほしい。

担当:これだけでCランクとしたわけではないが、この事業に関して言えば、通院者は受診しない傾向にあることなどから、特定健診の受診率はなかなか目標に届かない。これはいずれの自治体も同様。25年度の実績は、県内9市では上から3番目であるが、目標を達成していない状況はきちんと受け止めなければならない。

□ P90 4章 5社会保障を充実する

委員:ジェネリック医薬品を使用して、弊害が出たというケースがある。目標値としてはふさわしくないのでは。

担当:インターネットなどでもいろいろな意見がみられるが、ジェネリック医薬品の使用については、国も目標を設けて取り組んでいる。なお、国の使用目標基準の変更により、成果指標を修正したい。

□ P78 3章 10人と生きものが共生する環境社会を構築する

委員:成果指標で住民に外国人を含むのは他の市町も同様か

担当:同様である。

委員:ペットボトルを分別排出しても中国人へ輸出されていると聞くし、太陽光発電を推進する上で弊害もあるのでは。

担当:法律のもとで対処している。太陽光については家庭での使用に支援している。

委員:「川が汚い」という意見が「若者との語り合う会」でも出ているが、まちなかではカラスのふん害があり、全県民的な自然環境を守る運動が必要では。

担当:市民運動としてまち美化に取り組む。

委員:京都議定書の問題も含めて、次世代を担う子どもたちに環境に対する教育が必要では。次回の部会の中でも検討したい。

委員:街路樹が無造作に剪定されている。子供だけでなく大人への教育も必要。

5 部会審議を経ての修正点

修正項目:3-28 子育て支援を充実する

修正内容:障がい児を持つ母親への支援については施策の中に明記する方向で調整する。

修正項目:5 - 30 社会保障を充実する

国の使用目標基準の変更により、成果指標を修正したい。

修正内容:

	修正前	修正後
現状値	30.7	56.0
目標値	33.0	60.0

鯖江市総合計画審議会教育民生部会(2回目)開催概要(要旨)

日時 平成26年11月12日(水)

午後4時から午後6時

場所 市役所 第2委員会室

【欠席】1委員

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 事務局説明
 - ・第1回の開催概要について
 - ・審議の進め方について
- 4 審議概要(教育委員会所管事業)

P46 2章 1学校教育を充実する

部会長:普通教室のIT機器配置率のみを成果指標としている理由は

担当:数値目標としてわかりやすく代表的なものを挙げている。

委員:不登校児童は

担当:昨年度で約100人。年々微増している。スクールカウンセラーの導入やチャイルドセンターに室長を配置するなど、学校復帰への対応を強化している。学校が楽しい場であるよう学校現場でも様々な工夫をしている。

委員:どれぐらい復帰できているのか

担当:完全復帰は7~8人。

委員:携帯、タブレット端末等の普及により、倫理教育も必要と考える。

P48 2章 2幼児教育を充実する

委員:幼児教育というと3歳以上が対象かと思うが、保育現場は0歳児から預かっている。学校との交流という中で、保育現場に来ていただいて交流していただくことも必要。

担当:学校との交流では幼稚園は多いが、保育所は少ないので、目標値としては、公立を約1.5倍に、私立は約2倍にしたい。

委員:地域の力で子供たちを見守るという視点も必要である。

委員:対象の中に「認定こども園」も追記して欲しい。

担当:対応する。

P50 2章 3生涯学習を充実する

委員:地区公民館の役割が多様化していることを理解して欲しい。

担当:まちづくりはもとより、人づくりなどの面でも公民館の果たす役割は大きい。

委員:特定の世代だけでなく、時代の変革に対応できるようすべての世代に生涯学習を取り入れたい。

□ P52 2章 4 青少年を健全育成する

委員:登下校の見守りが行われているが、学校によって温度差がある。成果指標に入れてはどうか。禁煙と麻薬等の広がり気になる。人間の生き方を見つめることも大事。

担当:登下校の見守り隊については、成果指標に入れるかどうか検討する。

委員:自殺や虐待を予防するという視点も必要では。

担当:関係機関と連携して未然に防止するという表現を追記する。

□ P54 2章 5 歴史・伝統・文化を伝承し創造する

委員:子どもから大人まで文化に関わるという視点から、施策成果指標の中にまなべDEわくわくアートフェスタも追記して欲しい。また、まなべの館の展示に関心がない方でも、多くの人に文化に触れてもらえるように展示にあわせて、コンサート等やジャンルを超えた工夫も必要では。

担当:まなべDEわくわくアートフェスタについては成果指標に追加する。現在もギャラリートークやコンサート、さらには別のイベントと合わせて開催するなど、入館者の拡大に努めている。

委員:事業名に「等」を追記して欲しい。

□ P56 2章 6 スポーツの普及・振興を図る

委員:総合型スポーツクラブも成熟期に入っている。3つを一本化することなどを視野に入れて体協ともより連携したい。体育施設については、市民のニーズに合わせて対応すべき。具体的には、市民プールやスキー場については、利用の仕方を考える時期に来ている。総合体育館については耐震に併せて大規模改修も実施して欲しい。

担当:市と体協、スポーツクラブでは連絡協議会を組織し、定期的に打ち合わせしている。スポーツクラブの一本化は現段階では困難である。施設のあり方については他の施設も含めて検討する。

委員:障がい者スポーツの充実を追記して欲しい。

担当:スポーツ振興計画にもあるので追記したい。

5 部会審議を経ての修正点

修正項目: 2章1 学校教育を充実する

修正内容: ITを活用した教育の充実の施策に関して、倫理教育の必要性を追記する。

修正項目: 2章2 幼児教育を充実する

修正内容: 対象の中に「認定こども園」を追記する。

修正項目: 2章4 青少年を健全育成する

修正内容: :関係機関と連携して未然に防止するという表現を追記する。

修正項目： 2章5 歴史・伝統・文化を伝承し創造する 2章2 幼児教育を充実する

修正内容： わくわくアートフェスタについては成果指標に追加する。事業名に「等」を追記する。

修正項目： 2章6 スポーツの普及・振興を図る

修正内容： 施設の利用に関して、「市民のニーズに合わせて」を追記する。障がい者スポーツの充実を追記する。

鯖江市総合計画審議会産業建設部会(1回目)開催概要(要旨)

日時 平成26年10月15日(水)

午後3時から午後5時

場所 市役所 第2委員会室

【欠席】2委員

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 事務局説明
 - ・審議の進め方について
 - ・若者との語り合う会の結果について
 - ・主要な指標について
- 4 審議概要

□ P38 1章 4健全な森林をつくる

委員:否定的なイメージが強い。生き物や自然との共生をどうするかも重要。

担当:鳥獣害については、多くの地区で課題となっている。山には動物、里には人間という棲み分けが大事。

委員:成果指標にある広葉樹の植樹について、子どもたちを巻き込んだ施策は。

担当:大谷公園は含めていないが、森林組合が取り組む植樹を河和田で実施している。

委員:保全活動に地域住民とともに取り組むという視点を取り入れてはどうか。

担当:基本方針に前向きに取り組むという視点を盛り込むことで検討します。

□ P94 5章 1適正な都市計画・土地利用を推進する

委員:用途区域内に農地があるが転用が進まずに、日野川以西がスプロール化している。

現在の宅地化の現状は

担当:農業委員会も農地転用については厳しくしている。

委員:都市計画マスタープランは首長が変わっても不変の長期的なまちづくり計画であるべき。西山公園は歴代市長が思いを一つにしてとても良い公園となった。市内は南北道路は整備されているが東西が弱い。インターから西山公園の道路整備もいつの間にか消えて、乱開発が進んでいる。

担当:農地転用は用途区域内を優先させている。農業と産業振興、環境保全は三つ巴。

委員:宅地開発は用途区域内に限定すべき。インフラ整備などに行政コストがかかりすぎる。

委員:現状と課題を受けて、基本方針があいまいで方向性が見えず、妥当かどうかの判断がつかない。

担当:基本方針の見直しと成果指標の設定について検討します。

□ P96 5章 2調和のとれた都市空間を形成する

委員:中山公園はどのような目的で作られたものか。近くにはオンドリヤホテルなどが

生息しているが、整備する予定はあるのか

担当:最近、樹木が伐採されたが、中山公園を開発する予定はない。公園管理者として、地域の皆さんの保全活動を支援していく。

委員:地域の特性を活かした公園の在り方をよく検討して欲しい。

担当:基本方針の中に地域特性を活かした公園という位置づけを盛り込む。

委員:近くにスキー場もありますね。利用されているのか。

担当:市スキー連盟に管理をお願いしている。雪が降れば利用されている。

委員:公園里親制度の目標値の 82 の意味は。82 の意味づけをわかりやすく表記して欲しい。

担当:里親に管理をお願いしている街区公園が 77 あるので 5 つ増やす目標値を設定した。わかりやすく表現する。

□ P98 5章 3安全で良質な住宅環境を推進する

委員:マンションなど集合住宅が増えているが、最近のテレビ番組でNPOが空き家の管理をしているというのを見たが、空き家の対策はどこで対応するのか。

担当:管理上問題のある空き家は、総務部会の防犯の中で対応しているが、健全な空き家については検討する。

委員:56年以前の住宅が耐震化の対象か?

担当:56年以降は建築基準法で耐震化の対応がされている。

委員:自然災害への備えが必要と考えるが。

担当:「災害に強い河川等を整備する」の中で対応している。

□ P100 5章 4円滑で安全な道路網を整備する

委員:成果指標の数値化はよりわかりやすくすべき。率だけではわからない。

担当:率で表示されているものは、その根拠となる数値を明記するか検討する。

□ P102 5章 5災害に強い河川等を整備する

委員:行政は土砂災害警戒区域の指定やハザードマップの配布で仕事は終わったようになりがちだがその後のフォローが大事。

担当:広島や嶺南地域の災害を受けて県では土砂災害警戒区域の見直しを進めている。市や自主防災組織による防災訓練、出前講座等を通して防災、減災に向けた啓発をしている。

□ P104 5章 6安全でおいしい水を安定供給する

委員:水道管の老朽化が進んでいるのか

担当:周辺部は耐震管の導入が進んできているが、街なかが大変。水源から街なかへの耐震管の接続を計画に沿って進めていく。

委員:経営基盤の強化が成果指標に上がってこないが。

担当:水道料金の値上げとの兼ね合いとなる。検討します。

□ P106 5章 7 下水道の普及促進を図る

委員:フォローの図が見つらい。

担当:環境衛生センターの写真等に切り替える。

5 部会審議を経ての修正点

修正項目:市民とともに取り組むという視点を入れること

修正内容:全体的に調整する。

修正項目:わかりやすい数値目標に工夫すること

修正内容:率で表示されている場合は、わかりやすく実数値で表示することも検討する。

修正項目:防災におけるハードとソフトの関係

修正内容:主にハード整備は都市整備所管の第5章で、啓発や組織化などソフト対応は総務部所管の第3章で対応する。

鯖江市総合計画審議会産業建設部会(2回目)開催概要(要旨)

日時 平成26年10月31日(金)

午後3時から午後5時

場所 市役所 第2委員会室

【欠席】2委員

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 事務局説明
 - ・1回目の結果について
 - ・審議の進め方について
- 4 審議概要

□P32 1章 1 魅力ある商業を再生する

部会長:成果指標にある5つの新規事業はいつからの積み上げか。

担当:平成25年度からの累積を目標値としている。

委員:商店街に魅力を感じない。市の産業観光施設にはお客が来ているが、商店街にも体験できる拠点施設が必要ではないか。

部会長:どのような人をターゲットにしているのか。地域に住む人をマーケットにするような活性化も必要ではないか。

担当:個店の魅力創造が大事。おかみさん会によるまちゼミや誠市、ご縁市などを通して、人は来ているので、店を知ってもらうような工夫をしている。

部会長:県外からのお客様を買ってもらえるような品揃えができるのか。

委員:7つの商店会を一本化できないのか。

担当:努力しているが難しい。役員会を定期的で開催している。

委員:個店の魅力の情報が入手しやすいようにしてほしい。地元の人と会話を楽しめるようにできたらいい。

委員:商店街には観光客の誘客と地元の人たちの日常生活を支えるインフラとしての役割の2つの意味がある。高齢者に優しい商店街というあり方も必要では。

部会長:使いやすい商店街という視点が抜けていないか。「再生」という言葉はイメージがよくない。「育成」という表現が適切ではないか。

担当:行政の取り組みという視点からはこうなるが、修正したい。

委員:商店街の情報がない。日常の買い物に商店街を活用しない。新幹線が開通するとさらに外へ出向く。

部会長:情報を多く出して、街なかを歩いたり、個店で買い物が増えるように。

担当:サンドームにもコンサートになると多くの人があるが、お茶のおもてなしなどを試みているが、なかなか利用してもらえない。最終的には個店の魅力が必要。

□P34 1章 2 若者に魅力あるものづくり産業を創出する

部会長:「作って売る産地」という表現には、開発し製品化して販売するという意味合

いが含まれている。

□ P36 1章 3 持続性のある農業を確立する

委員:さばえ菜花の作付け面積は市全体か。

担当:市全体である。

部会長:次世代の農業を担う人の確保という視点。タイヨー電子のような食物工場について記されていない。

担当:6次産業や食物工場という視点も必要。担い手の確保ということでは、高齢化が進んでおり、農政の大きな課題。

□ P40 1章 5 地域資源を活かす観光を推進する

委員:観光では地元の人との触れ合いや対話が重要。県外からの人を案内できるようなモデルコースを設定して欲しい。

委員:全国的に比較すると鯖江には観光資源が少ない。西山公園は歴史公園100選に選ばれた名園でありもっとPRすべき。また西山動物園もレッサーパンダの繁殖率等において優れている。イベントだけでなく通年型で人が来るような公園にした。この丹南地域には5つの伝統産業が集積している。まだ産業観光の受け入れ態勢ができていないとは言えないが、滞在型の手づくり体験ツアーは魅力的。

委員:東大阪もものづくり体験ツアーを受け入れている。修学旅行生も対象にしてはどうか。

委員:団体の受け入れ態勢は整っていない。精々5~6人程度のグループでは。

部会長:新幹線の金沢開業にあたり、観光業者と連携し、バスで大阪へ出向く際の途中下車を狙う。

担当:河和田地区のふるさと創造プロジェクト事業で工房の見える化に取り組んでいる。通年型でまち歩きを楽しめるようにしたい。丹南地区の伝統工芸産地の連携した取り組みはスタートしている。それぞれの特性に応じた観光を推進する。

□ P42 1章 6 誰もが働きやすい環境を充実する

委員:地元の産業に希望が持てるようにしたい。多くの若者はパート労働者であり、生活が安定できる雇用環境の整備が必要。

委員:Iターン者として、移住したい地域にどのような仕事があるのか知りたい。インターンシップ制度に支援していただきたい。生活面では住環境に支援して欲しい。

担当:伝統工芸の産地として、県が後継者育成を制度的に支援している。住環境の整備も必要である。基本方針の中に追記したい。

部会長:支援できるシステム構築が必要。Iターン、Uターン者はもとより、熟練労働者や中堅者も働きやすい環境を整えることが重要。

□ P78 3章 10 人と生きものが共生する環境社会を構築する

部会長：「人と生きものが共生する」という視点がない。

事務局：第1章の林業の中に多く含まれている。

委員：区長として困るのはごみ捨てのモラル。環境講座への参加をより多く促しては。

担当：最終的には一人あたりのごみの排出量の削減。

委員：ごみ処理の有料化が記載されているが、具体的にはどうなのか。

担当：意見が分かれるところ。今後の課題。

部会長：大人も子供にも地域の環境を教育するという視点が重要。

事務局：総務部会でも市民が取り組むという視点から成果指標の参考値として3点あげている。環境に関して、家庭ごみの排出量を削減する目標値を設定してはどうか。

部会長：ぜひ取り入れて欲しい。

委員：資源化ごみの量も入れられないか。

担当：どのように設定するか検討します。

5 部会審議を経ての修正点

全体の総括的な意見として、地域の商業、観光、環境というように地域で取り組むという視点を入れて欲しい。

修正項目：1章 1 魅力ある商業を再生する

修正内容：「再生」という言葉はイメージがよくない。「育成」という表現が適当。

修正項目：1章 3 持続性のある農業を確立する

修正内容：6次産業や食物工場という視点も盛り込む。

修正項目：1章 5 地域資源を活かす観光を推進する

修正内容：西山公園は歴史公園100選に選ばれた名園であり、西山動物園とともにもっとPRすべき。

修正項目：1章 6 誰もが働きやすい環境を充実する

修正内容：Iターン、Uターン者には住環境の整備も必要。基本方針の中に追記したい。

修正項目：3章 10 人と生きものが共生する環境社会を構築する

修正内容：参考値として、家庭ごみの排出量を削減する目標値を設定する。